かほく市立宇ノ気中学校　　平成３０年１２月１９日(水)
第１２号

２年学年だより

はしら

校　　長　　山本　桂一
学年主任　　正元　三巌

2学期を終えて



２年生の２学期には、大きな行事がいくつもありました。７月の「職場体験」、９月の「運動会」、１０月の「学校祭」、１１月は共通道徳での「西田幾多郎記念哲学館訪問」や「教育講演会」、１２月には、「薬物乱用防止講座」が行われました。

これらの行事を通して、他との関わり方や、将来の展望・勤労の価値観等、自分が今後どのように生きるかを考える良い機会になったと思います。

かほく市中学校2年共通道徳講座から学んだこと

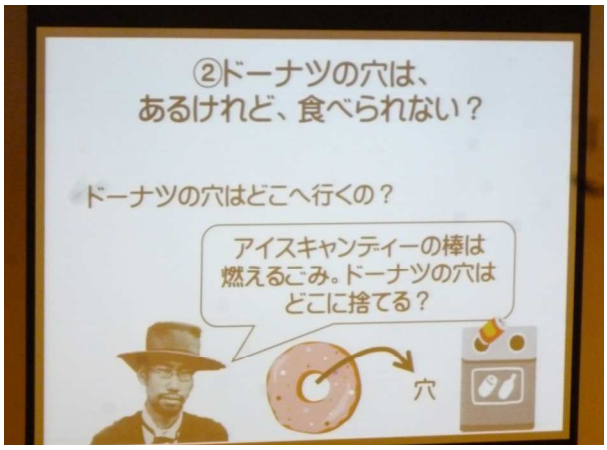
１１月２日（金）と１１月２６日（月）に２年共通道徳が実施されました。毎年かほく市の中学２年生を対象に行われているもので、郷土の偉人、世界の哲学者「西田幾多郎」について学びました。

１１月２日（金）に実施した西田幾多郎記念哲学館では、館内の展示を見学した後、哲学についての講義を受けました。西田幾多郎先生が研究された哲学について、分かりやすく説明していただき、生徒たちは、哲学や西田幾多郎先生の「人となり」に興味を持ったようです。

また、１１月２６日（月）の２年共通道徳では、記念哲学館の先生に、哲学について考える授業を全クラスにしていただきました。各クラス２グループに別れ、楽しく哲学を学ぶことができました。



【真剣に展示物に見入る生徒たち】



【哲学についての講義の映像】

哲学館を訪問してみて、哲学の奥深さと哲学の意味を改めて知りました。ドーナツの穴については、人それぞれ考え方や疑問の浮かぶ力が違っていると分かりました。初めは哲学とは長い年月をかけて解く難しい問題だと思っていたけれど、問題に対して様々な視点からつっこみを入れて解いていくものだと分かり興味を持ちました。哲学らしい考え方を授業でも活用していきたいです。

（２年２組　　萩村　怜央）

私は、「哲学」とは何か全然分からなかったけど「哲学」とは、考えることであり、哲学者は疑問を持つのが上手い人で、どんな当たり前のことも「なぞ」になるというのはすごいと思います。常に疑問を持っていて、その疑問についてたくさん考えることが西田幾多郎先生は、楽しいと感じていたのかなと思いました。ドーナツには穴がある。なのに、どうして食べられないのかという不思議な疑問が出てきたのでおもしろいなと思いました。　　（２年４組　　林　桃香）



【哲学館の方と「努力」について考えました】

教育講演会で感動をもらいました

１１月１０日（土）に教育講演会が行われました。今年の講師の方は、宮島　徹也さんでした。宮島さんは、中学時代に足を切断する不幸に見舞われても、力強く立ち直り、車椅子バスケットの日本代表になられた方です。その前向きな生き方に、多くの感動をいただきました。



【体育館で映像を交え講演される宮島さん】



【見事な実演もありました】

自分がしたいことが出来る。自分が思うように動くことができる。それは私にとっての本当に当たり前のことだとつい１時間前まで思っていました。でも今日知ったのは、私の中の当たり前とは違うものでした。宮島さんは大好きだったバスケができなくなるというとても辛い経験をしてきています。足を切断したという話をしている時の宮島さんの表情が私にとっては印象的でした。少し辛そうで、話すときの声の強さも他の時と比べて少し強くなっていました。その時、足を切断せざるを得なかったこと、その時にバスケができなくて皆に見られたくなくて本当に悩んだということ、本当にいろいろな思いが伝わってきました。その表情が、私が今日話を聞いて胸が痛くなった瞬間でした。私は今まで本当に何事もなく生きてきました。自分で自分の体を動かすことができる。私の好きなバドミントンができる。そう当たり前のことであり、皆にとって当たり前でもあったと思います。そんな当たり前がなくなり絶望になった宮島さんが“車いすバスケの日本代表になる”そう心に決めることはすごく難しいことだったと思います。それにはじめは現実を受け入れたくなかったと思います。でも、今の宮島さんを見るととてもかっこいいなと感じるし、すごく人間として素晴らしい尊敬できる人でもあるなと思いました。生き方も考え方も私には分からないことだと思います。私には感じたことのないような痛み・辛さ・悩みを抱えたことも多々あったと思います。宮島さんと同じ思いをしたり、同じ痛みや辛さを感じたりすることはこれからもないと思うけど、当たり前ができることに、当たり前のように感謝して生きていきたいと思います。そして私にできることをして、そんな障害を持った人に対しての偏見や軽蔑がなくなっていけばいいなと思いました。本当に私の考え方が変わった講演でした。　　（２年５組　　若林　美咲）（裏に続きます）

どんなことがあってもポジティブに考えていてとても尊敬しました。人生には落とし穴が必ず来て受け入れられなかったり、あきらめたりすることもあるけれど、あきらめるとその時点で終わってしまうけれど、あきらめなかったらゴールに近づくことがよく分かり、わたしもあきらめかけてきたバレーボール部のレギュラーに入れるよう改めて頑張ります。何でも「無理」と考えるのではなく「〇〇を抜かす！」などの目標を作ることが大切だということが分かりました。そしてゴールに着くことができた時、今まで支えてくれた両親や先生、友達に感謝を伝えられるような人間になりたいです。宮島さんの講演で「好きなこと」を作ると良いとおっしゃっていて、好きなことから夢ができることもあると分かりました。私は、小さい子供が大好きです。幼稚園の先生の影響で、将来の夢は幼稚園の先生になることです。小さい子供と楽しく接して、私が幼稚園に行っていた頃の先生を抜かせるような先生になりたいです。そのために、普段の授業を宮島さんのように努力し、最後のゴールに向かって両親や先生、その他支えてくれた人にしっかり感謝を伝えられるように頑張ります。ありがとうございました。　　（２年１組　　山田　心）

僕は、宮島さんの話を聞いて、足が無くなった時に「死にたい」とか「殺してくれ」と思ったと言っていて、僕は、車いすの競技は見たことはあったけど、その人達はこんな経験をしていたということを知り、驚きました。僕は、宮島さんが一度絶望したのにここまで頑張れたのは、周りの人のおかげでもあるけれど、やはりバスケが上手くなりたいという目標があったからだと思います。もし、僕が宮島さんと同じ状況になったら、もうあきらめてしまうと思います。だから立ち直った上に日本代表まで登りつめた宮島さんは、本当にすごいと思います。僕は宮島さんのように立ち直れる力をつけるにはまず、宮島さんも言っていたとおり、夢や目標を持つことが大切だと思います。僕は、自分もこれから頑張っていきたいし、夢を叶えた宮島さんも頑張ってほしいと思いました。　　（２年３組　　藤田　敬太郎）

学級三役がんばっています



前号で紹介した１組・２組に続き、３組・４組の三役の抱負を紹介します。
初心を忘れずクラスをまとめていってもらいたいと思います。

２年３組　会長　　岡井　綾音

私は、このクラスをみんなが居心地の良いようなクラスにしたいです。そのために、がんばりたいことは２つあります。１つ目はクラスを見渡すことです。今までは、自分のことで頭がいっぱいだったけど、会長になったからには、みんなをしっかり見て、的確な判断をしていきたいです。そして、他人任せにはしません。「このままでいいだろう。」という気持ちを無くし、クラスをより良くしていきたいです。２つ目はクラスの色々な人に声を掛けることです。そうすることで、笑顔も増えると思います。そして、一部の人だけでなく、クラスのみんなで仲の良いクラスを作りたいです。常にみんなの模範となれるような行動をしていきたいです。そして、より良い学年を作っていきたいです。後期の間よろしくお願いします。

２年３組　副会長　　指本　悠稀

後期副会長という役職について、１年のときに、三役として積んできた経験を生かして、積極的に頑張っていこうと思います。今回は、副会長なので、会長のサポートはもちろん、会長の下に埋もれるのではなく、自分から進んで行動していこうと思います。また、後期は、学校祭や球技大会など大きな行事がたくさんあり、三役を中心に動くことが多くなるので、その行事全てが成功できるように、与えられた仕事に全力で取り組もうと思います。来年は、最高学年なので、その名にふさわしい学級になれるように、三役である自分たちから声掛け行動をしていこうと思います。このクラスを明るく活気ある楽しいクラスにできるように、後期は全力でやっていきます。後期の間よろしくお願いします。

２年３組　書記　　宮下　紗依

私は、明るく活気がありメリハリがあるクラスになるよう頑張ります。そのために、三役で取り組みを行う際は、「率先垂範」の心を持ち、自分から積極的に取り組みの内容を実践します。また、書記として、会長・副会長のサポートはもちろん、クラスの意見を聞くなどし、皆のサポートをしていきたいです。後期では学校祭・合唱コンクール・球技大会など大きな行事がたくさんあるので皆で楽しく盛り上がれるように、クラスの雰囲気づくりを自分からしていきたいです。後期の間よろしくお願いします。

２年３組　書記　　三井　快斗

僕は、今回初めて三役会に入ります。書記になったからには、会長や副会長のサポートはもちろん、自分からも積極的に行動していきたいです。特に僕が力を入れたいことはベル学です。２年３組は、授業の数分前まで話しているので、自分が手本になるように頑張りたいです。そして、ベル学をしていない人を見つけたら、しっかりと呼びかけていきたいです。後期には、合唱コンクールや球技大会などクラスが協力して頑張る行事が多いので、三役としてクラスを支えていきたいです。後期の間よりよいクラスにできるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

２年４組　会長　　松本　春花

私は、後期会長として、様々な取り組みや行事での自分の仕事に責任を持ち、クラスを支えられるようにしたいです。

初心忘るべからず

２学期・３学期は学校祭・合唱コンクールなどの大きな行事がたくさんあり、それらによってクラスの団結力を高めることもできると思います。三役でクラスの雰囲気が決まることもあると思うので、行事のときはもちろん、日々の生活からきちんとしていきたいです。今の２年４組は、みんなの仲が良いことが長所です。しかし、授業への積極性が低い部分や、授業の終始の挨拶の声が小さいところが課題です。長所をさらに伸ばし、短所は直していけるように後期の間頑張っていきたいと思います。

２年４組　副会長　　大西　来永

僕は、初めて三役という役職に入りました。そして、副会長になりました。僕が副会長に立候補した理由は、もっとクラスを良くしたいと思ったからです。みんなが自分よりも相手・周りを優先して行動できるようなクラスにしていけたらいいなと思います。まず、第一に会長のことを考えて行動したいです。会長をサポートし、スムーズに行くように頑張りたいです、後期の間精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

２年４組　書記　　山名田　悠花

私は、後期書記になって、まずはしっかりと会長や副会長のサポートをしていきたいと思います。意見を考えることなどを全て会長・副会長に押しつけることなく、積極的に自分から意見を出していきたいと思います。このような役職に就いたからには前期のように挨拶の声が小さい、発表のときの声が小さいということになってはいけません。自分の意見や、言っているいることに自信を持っていきたいです。この２年４組の一人一人が輝けるクラスになれるよう、後期の間たくさんのことをしていき、できる限りの努力をしていきたいと思います。後期の間よろしくお願いします。

２年４組　書記　　横山　蓮

僕は、書記に立候補しました。そして書記になりました。でもみんなには「大丈夫か心配やな」というように思われていると思います。だから、みんながそんな気持ちにならないように、僕が書記になったからには、会長や副会長のサポートはもちろん、書記の仕事も忘れずにしていき、
みんなのお手本になるような行動をしていきます。そして三役などでは、
宇ノ気中学校全体がより良くなるような意見を言っていきたいと思います。
皆さんよろしくお願いします。

